

令和7年度第1回 飯南町教育委員会議事録	
1. 開会日時	令和7年4月22日（火）
2. 開会場所	飯南町役場 会議室
3. 出欠状況	○出席者 教育長：大谷哲也 教育委員：烏田勝信、熊谷高暢、小野田知子、源知香子 （事務局）次長：石飛幹祐、指導主事：郷原秀文 社会教育主事：難波社教主事
4. 議題	議案第1号 令和7年度小・中学校主任等の発令について 議案第2号 令和7年度小・中学校兼職辞令の内申について 議案第3号 飯南町社会教育委員の選任について 議案第4号 飯南町公民館協議会委員の選任について 議案第5号 令和7年度小・中学校学校運営協議会委員の委嘱について 議案第6号 要保護・準要保護児童生徒援助費の認定について
石飛次長	（令和6年度第12回教育委員会議事録について要旨説明） （N校について、町内中学生の進学状況についての説明） このことについて、何かご質問などはございますか。 三刀屋と智翠館へそれぞれ2名進学があるが、理由が分かりますか。 （個人情報があるので削除） 自分の進路へ進むことができたのであれば良いと思うが、飯南高校への進学者数の心配もあります。 議会特別委員会で数回会がされたとのことですが、その組織はどういったものか、また会での、方向性とか意見とかそういったものは聞いていますか。
郷原指導主事	
大谷教育長	
烏田先生	
石飛次長	
烏田委員	
熊谷委員	

大谷教育長	組織は議長以外の9名で構成されています。これまで2回開催され、明日ごろ3回目が開催されるように聞いております。連休明けには私たちも同席することとなり、委員会からの調査して欲しいことの要求やご意見もあろうかと思っています。6月議会のところで審査意見が出されるのではないかと考えておりますが、はっきりとは分からない状況です。 それでは議事に入ります。議案第1号をお願いします。
石飛次長	(議案第1号 令和7年度小中学校主任等の発令について資料に基づき説明)
大谷教育長	議案第1号について説明がありましたがご質問等がありますでしょうか。
熊谷委員	今年度も来島小学校への司書教諭の配置がありませんが、どういう整理となっていますか。
郷原指導主事	司書教諭は司書教諭免許を持っている方がいないと任命できないということがあり、来島小には免許を持つ教諭がいないため配置できていないのが現状です。図書館を活用しないということではなく、飯南町では学びのサポーターを配置していますので教員と連携して進めています。
大谷教育長	それでは第1号については承認ということによりよろしくお願い致します。 それでは次に議案第2号について説明してください。
石飛次長	(議案第2号 令和7年度小中学校兼職辞令の内申について資料に基づき説明)
大谷教育長	議案第2号について、ご質問はよろしいでしょうか。
小野田委員	授業時間数自体は例年と変わっていませんか。
石飛次長	例年と同様です。

熊谷委員	赤来中学校と頓原中学校で、兼務教職員数が大きく違うが何か理由があるでしょうか。
大谷教育長	頓原中は中高一貫加配で増員になっているところもあり、そういった所に配慮しての校内人事という所もあります。
熊谷委員	発令をしておいて実際は関わらなかったというようなケースもあるかもしれませんが、そのあたり把握されていることがあれば教えてください。
石飛次長	兼職は中学校から具申のあったものをそのまま、内申案としており、数の調整などは行っておりません。数の違いについて、両校に聞き取りをして、ご報告すべきことがあれば、次回に報告させていただきます。
大谷教育長	配置の実態について次回までに調べさせていただきます。
大谷教育長	その他ないようですので、承認ということをお願いいたします。次に議案第３号について説明してください。
石飛次長	(議案第３号 飯南町社会教育委員の選任について説明)
大谷教育長	議案第３号について説明させていただきました。こちらについてご質問等がありますでしょうか。
大谷教育長	それでは第３号については承認ということをお願いいたします。
大谷教育長	それでは次に議案第４号について説明してください。
石飛次長	(議案第４号 飯南町公民館協議会委員の選任について説明)
大谷教育長	議案第４号について説明がありましたが、質問等をお願いいたします。
大谷教育長	議案第４号について認定ということよろしいでしょうか。 (異議なし)

大谷教育長	それでは次に議案第5号について説明してください。
石飛次長	(議案第5号 小・中学校学校運営協議会委員の委嘱について説明)
大谷教育長	説明が終わりました。ご質問等をお願いいたします。
熊谷委員	赤名小学校の新任の方は、校長やPTA会長の交代によるものではなく代わられた方がおられますが、こういった理由でしょうか。
難波社教主事	赤名小学校は昨年まで教育委員会が認めるものという方がおられず、少人数での運営協議会となっており、議論が広がらない状況があったので、比較的長いスパンで関わっていただけの方に新たに入っていただきテコ入れをさせていただきました。
小野田委員	協議会に決まった人数はないということでしょうか。
難波社教主事	各学校長と協議し、10名前後が良いかと思っております。
大谷教育長	他に無いようですので、こちらは承認ということでよろしいでしょうか。 (異議なし)
大谷教育長	では、続きいて議案第6号をお願いします。
石飛次長	(議案第6号 要保護準要保護児童生徒援助費の認定について説明)
大谷教育長	議案第6号について質疑がありましたらお願い致します。
熊谷委員	今回認定の対象となる生徒に新入生1名があるが、新入生であるけれども2月に認定がされなかったのはどうしてですか。
石飛次長	詳細について、調べて参りますので、しばらく時間をいただきたいのでよろしいでしょうか。
大谷教育長	それでは、しばらく休憩ということにしますのでよろしくお願い致します。

	(休憩) (再開)
石飛次長	新規認定の中学生 1 名についてですが、これまで認定されていない世帯でしたが、認定の申請を 2 月の教育委員会の後に出されたということで、新入生であります、今回認定をお願いするものです。今回申請に至ったのは、地域の民生委員さんに出してみても、という声掛けがあつてのことと伺っています。
烏田委員	就学援助の認定数の割合について近隣の市町村と比較してどのような状況でしょうか。
石飛次長	直近ではありませんが、近隣の市町と比べ高い比率で認定している状況があります。(就学援助の認定状況について資料により説明)
熊谷委員	全国平均は何パーセントとなっていますか。
石飛次長	令和 5 年の全国平均が 13.6%、令和 4 年の島根県が 15.2%となっています。飯南町における援助者が多い理由ですが、小規模な自治体ということもあり、周知が行き届いていたり、地域での声掛けもされているという面もあると考えられます。
熊谷委員	就学援助のことを積極的に P R するというところではないかもしれませんが、医療費も含め、他地域で生活するよりも手当が厚いという所は、喜んでもらっているところかと思います。
烏田委員	準用保護の方には修学旅行の援助が出ていますが、その他の方は、東京ということでは負担が大きいと思いますが、議会からは何かありませんか。
大谷教育長	議会からは平和学習はしっかりして欲しいという意見はありますが、保護者のアンケートを取ったうえで東京になってはいるところも含め、沖縄でなくてはならないという意見はないところです。
烏田委員	修学旅行の主旨と生活実態と考えた際に、東京は見直すほうが良いのではと思います。同じお金をかけるのであれば東京より沖縄が良いと思っています。

小野田委員	何年か一回は見直しをされるという風に行きましたが。
大谷教育長	数年ごとに見直しをしています。
大谷教育長	議案第6号についてはよろしいでしょうか。 (異議なし) 議題は以上です。